



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.11.16. 3893

何んだこの有様は!(NO.2) いつまでも不誠実団交を続けるのか!

ストレートな回答

出区点検のやり方を 回答できず”中断”

【前号より続く】

(2) 上総亀山駅での出区点検作業について

組 朝の場面は、九二二Dの運転士はどのような作業になるのか。

当 三番線に留置してある4両編成を分割し、前二両を二番線ホームにすえ付けることになる。なお、後二両は、あとで九二四D運転士がストップに停めてある三両と併結し、五両になる。

組 ところで、九二二Dは、二両で出区点検をやるのか、四両でやるのか。

当 ええ、……… 出区点検は前二両をやる。

組 ほんとうに出区点検は二両ということではないのか。

当 ちよつと待ってくれ、確認する。(中断、電話で確認)

当 訂正する。九二二Dの運転士は四両の出区点検を行い、分割後、前二両をもつていてもらう。

組 しかし、中間運転台は中位置になっているわけだから、

後二両は、出区点検を行ったことにならない。後で起きてくる九二四Dの運転士は、改めて五両での出区点検が必要になるはずだ。

当 個々に出区点検ができていれば、改めて必要はない。

組 運転台を前位置にしたうえでなければ機能確認ができないではないか。

当 再確認する。(中断、電話で確認)

当 電車でも、途中駅で分割するということがある。改めて出区点検は行わない。発車のときにブレーキ試験は行うわけで、説明した取り扱いで構わない。

組 この日初めて走りだす車両と、途中での分割とは話が違う。また、別な者が出区点検をした車両をもつていくという意味では緑出区のようなかたちになるわけだが、その場合、引継ぎが必要はなはずだ。緑出区の場合は、当直に行つて、ハンドルを受け取り、引き継ぐ。亀山では引継ぎもできないが、どう考えているのか。

のか。

当 引継ぎは、異常がなければ必要ない。

組 引継ぎは、異常があるなしにかかわらないことだ。

当 引継ぎが必要とは考えていない。

ない。

組 では、緑出区でハンドルをもつている場合は、当直に行く必要はないということか。

当 それは、……… 出区番線等の問題もあるから、………

エンジンの特性すら 考えもせず作業を設定

組 ところで、会社の説明したやり方によると、後二両は、一時間以上エンジンをかけっぱなしで置いておくことになるが、それでいいのか。

当 転動防止手配をし、留置しておくことになる。

組 カミンスエンジンの特性は知っているのか。

当 いや、まだ、………

組 長時間カラ回転をさせてはいけないと言われている。これはエンジンの説明書にもそう記されているのを知らないのか。理由は、潤滑油があがつてしまうからと言うことだ。また、現在は一時間以上かけっぱなしにすることはないが、それでも実際そのような現象が起きている。これは検修に問い合せてくれればわかることだ。

組 一時間が技術的に可能かどうか検討してダメなら変えるしかないだろう。

当 ほんとうにその回答でいいのか？(支社内で対立する)

組 一体どうなっているのか。聞いていることは技術的な問題だ。はつきりせよ。この二両は、別に停留してある三両と併結して発車する訳だからその時点で、五両で出区点検を行えばこのような問題は起きないではないか。

当 ちよつと待ってくれ、確認する。(中断、電話で確認)

しかし、なかなか結論はです一旦中断したまま、別項目の議論に移る)

………(三〇分ほどたつてから)

当 もう一度、最終的に判断する(ウラへ続く)

るが、一時間程度であれば何とか問題はないということだ。今問題となっているものは一時間十分なので、不可能ではないとのことだ。また、東北ではもっと長くアイドリング

グをやっている所もあるというところだ。ただ、今でも潤滑油があがってしまおうという現象があると指摘されたのでその辺は、もう一度調査し、最終的に判断する。

照明は設置しても 点灯する者が寝ている!?

(3) 上総亀山駅での早朝入換え作業発生に伴う照明等の設備について

組 上総亀山駅の駅員の睡眠時間は何時なのか。

当 二時三十分から四時三十分だ。

組 四時三十分まで寝ているとしたら、入換え作業の発生に伴って、照明を新設すると言っているが、一体誰が点灯する

のか。

当 入換え作業には間に合う。

組 何を言っている。入換え開始の前に出区点検がある。その時間にはまだ寝ていることになるではないか。

当 …… ちよつと待つてくれ、確認する。(中断、電話で確認するが、結局団交終了時まで回答できず)

当 今答えられない。担当者がいないので別途回答する。

「**またも「調査し、**

別途回答する」

(4) 添乗誘導問題について

組 二四六Dの入換えは、前頭(添乗)誘導が行われていない。気動車は添乗誘導をしなければならぬのではないのか。

当 前方の進路を確認すればいい。

組 内規には添乗誘導が定められているではないか。

当 内規にどう定められているかは今把握していないが、必ず添乗しなければいけないという定めはない。

組 内規に定められている以上、少なくとも内規を変更する

なりしてからでなければ、このような作業を指示することはできないはずだ。それがこの間ずっと行われている。

組 当 じゃあ内規を変えます。そんな簡単に軽々しく言えることは安全に関わる問題に対する姿勢は一体どうなっているのか。

当 別途回答するので、調べる時間を貸してほしい。

トツプ交渉の開催も拒否!

以上は、交渉経緯のごく一部であるが、まさに、質問のひとつひとつにほとんど回答することができないのである。しかも、これらのことは、何もこの日初めてもち出した問題ではないのである。今まで何度も説明を求め、支社運輸部も、「現場長を通じて説明させる」としていたことなのだ。しかし現場長は、この日まで「判らない」

と言いつつ、支社は支社でこの有様だ。支社運輸部は、上から下まで、管理機構としての体をなしていないのである。ダイ移行日が迫っている状況のなかで、一切の問題が対立のままとなっているばかりか、このような不誠実団交が続けられている状態では、これ以上団体交渉を進める意味は失われてしま

まう。動労千葉は、翌日、トツプ交渉を開催してこの事態を整理するよう求め、申5号を提出した。しかし、千葉支社は、トツプ交渉の開催すら拒否している。ダイ合理化粉碎、強制配転者の原職復帰、清算事業団闘争勝利に向けて、ストライキに立ちあがろう!

再度対結 11.21 集会へ 全力で結集を!

細川政権は、一九日の渡米前に、衆院「政治改革」特別委員会において小選挙区制導入の採決を行なおうとしている。われわれは、この事態に心底からの怒りを発し、「つぶせ小選挙区制・政党法一許すな憲法改悪」一一・二一全国集会(日

比谷野音)に総結集しよう! 細川一小沢が狙っていることは、労働者・人民の抵抗を徹底的に叩き潰し、弱者を徹底的に搾り取り・切り捨て、憲法改悪一アジア侵略へと向かおうということである。大資本の延命のために、「規制緩和」という

名の中小企業・農民切り捨てを強行しようとしているのである。小選挙区制導入は、そうした攻撃の終わりではなく、始まりなのだ! われわれは、この事態に警鐘を乱打し、「小選挙区制粉碎に向けて全力で決起しよう!